

(旧様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和4年3月17日

計画の名称	遠野市の防災・安全対策の道づくり (防災・安全)											
計画の期間	平成27年度 ~ 令和元年度 (5年間)			交付対象	遠野市							
計画の目標	遠野市内の集落地域及び幹線道路への円滑な交通を確保するため、道路整備を行い生活基盤の向上を図る。											
計画の成果目標 (定量的指標)	・ 舗装修繕必要箇所を整備済割合を増大させる。											
定量的指標の定義及び算定式	道路機能の保全を行う必要がある箇所に対する改善整備率 (改善整備率) = (改善整備済箇所/要改善計画箇所) × 100						定量的指標の現況値及び目標値			備考		
							当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R1末)			
							0%	14%	27%			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	348百万円 328百万円	A	338百万円 323百万円	B	0百万円 0百万円	C	10百万円 5百万円	D	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.9% 1.5%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	社会資本総合整備計画審査会にて事後評価を実施	令和4年3月
		公表の方法 遠野市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	R1		
20-A-1	道路	一般	遠野市	直接	遠野市	(他) 日影新田向線 (日影)	現道拡幅 L=470m " L=0m	遠野市						45 0	
20-A-2	道路	一般	遠野市	直接	遠野市	(他) 新張上の山線他 (松崎)	舗装補修 L=4,100m " L=3,865m	遠野市						177 220	
20-A-3	道路	一般	遠野市	直接	遠野市	防災拠点機能強化事業 (小友)	防災拠点施設 N=1基 " N=1基	遠野市						116 103	
											合計	338 323			

(旧様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和4年3月17日

計画の名称 遠野市の防災・安全対策の道づくり (防災・安全)

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	R1		
												合計	0				

番号 一体的に実施することにより期待される効果

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	R1		
20-C-1	計画調査	一般	遠野市	直接	遠野市	舗装補修	路面性状調査	遠野市						10	
												合計	10		
													5		
												合計	5		

番号 一体的に実施することにより期待される効果
20-C-1 道路の定期的な点検を行い、経済活動の基盤となる道路の補修を計画的かつ効率的に実施することにより、快適で安全・安心な通行を確保する。

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	R1		
												合計	0		

番号 一体的に実施することにより期待される効果

その他関連する事業

計画等の名称 遠野市の地域に密着した道路交通を円滑に確保する道づくり												
事業種別	交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
				H27	H28	H29	H30	R1				
20-A'-1	道路	(他) 下組町南1号線他27路線 (下組町)	遠野市						580	社会資本移行元		
20-A'-2	道路	(他) 張山安居台線 (安居台橋)	遠野市						273	社会資本移行元		
20-A'-3	道路	(1) 桑原大出線他橋梁整備事業 (附馬牛)	遠野市						75	社会資本移行元		
20-A'-4	道路	(1) 切掛権現線他21路線	遠野市						66	社会資本移行元		
20-A'-5	道路	(1) 上組町昭和通り線ほか2路線	遠野市						325	社会資本移行元		
20-A'-6	道路	道の駅魅力アップ事業 (綾織)	遠野市						0	社会資本移行元		
									70	社会資本移行元		
									606	社会資本移行元		
									58	社会資本移行元		
									72	社会資本移行元		
									1,073	社会資本移行元		
									201	社会資本移行元		

全体事業費	合計 (A'+B'+C')	3,254百万円 1,223百万円	A'	2,181百万円 1,218百万円	B'	0百万円 0百万円	C'	1,073百万円 5百万円	(C+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))	30.1% 0.6%
-------	------------------	----------------------	----	----------------------	----	--------------	----	------------------	-------------------------------	---------------

計画の名称 | 遠野市の防災・安全対策の道づくり (防災・安全)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・令和元年度末現在 整備済 … 3路線 (新張上の山線500m、鞆町町上線795m、赤羽根番屋線1100m 合計2392m)
- ・令和元年度末現在 実施中 … 1路線 (八幡飛鳥田線1470m) R2年度完了
- ・舗装長寿命化修繕計画を策定し、効率的な舗装補修を進めることができた。

II 定量的指標の達成状況	指標① 改善整備率	最終目標値	27.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	—
			3路線 / 11路線		
		最終実績値	27.2%		
			3路線 / 11路線		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

- ・24時間トイレ、非常用蓄電設備を行い、内陸部と沿岸の中間に位置する防災拠点として機能強化が図られた。

3. 特記事項 (今後の方針等)

- ・老朽化による道路施設の危険性が懸念されるなか、予防保全の観点から長寿命化修繕計画を策定し実行している。
舗装の耐用年数は10年と言われているが、当市においては予算化が難しく、その倍以上の年数が経過してから舗装打替えが行われている。
本交付金をいただき、定期的に路面性状調査を行い、損傷度を把握し、無駄のない舗装補修事業を進めることにより、市内の集落地域及び幹線道路への円滑な交通を確保する。

(参考図面)

計画の名称	20 遠野市の防災・安全対策の道づくり	交付対象	遠野市
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)		

